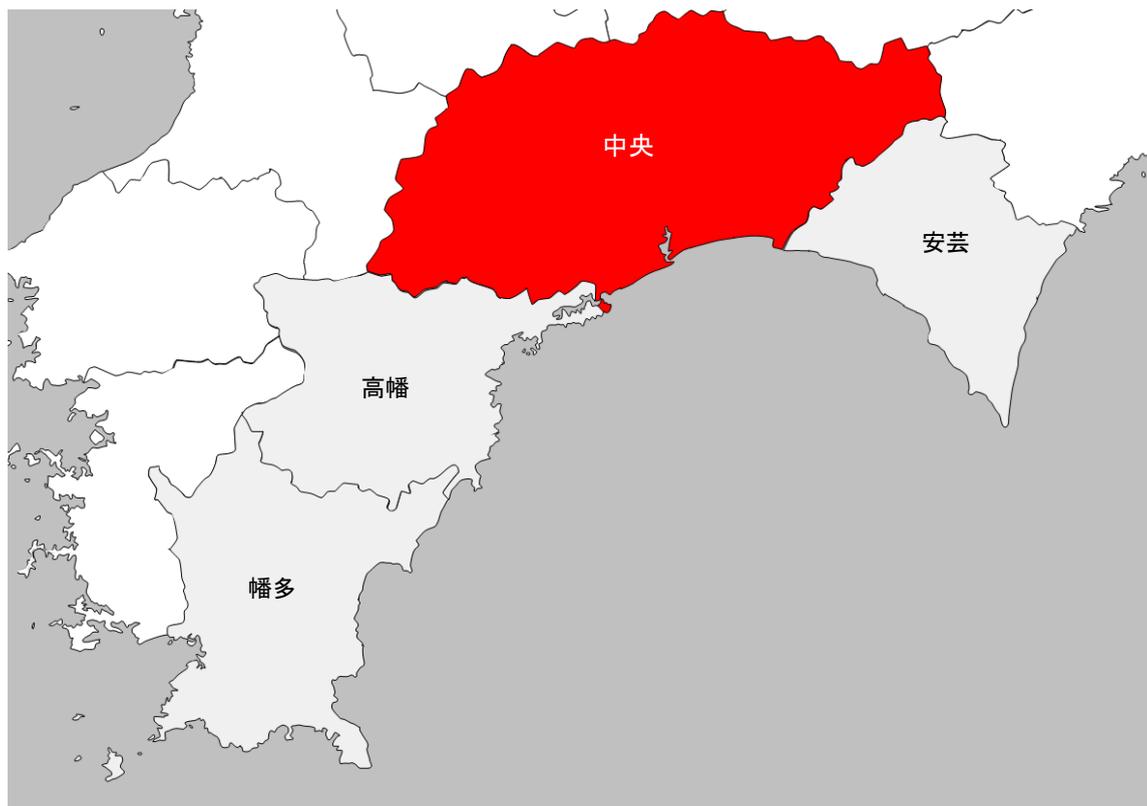


39. 高知県

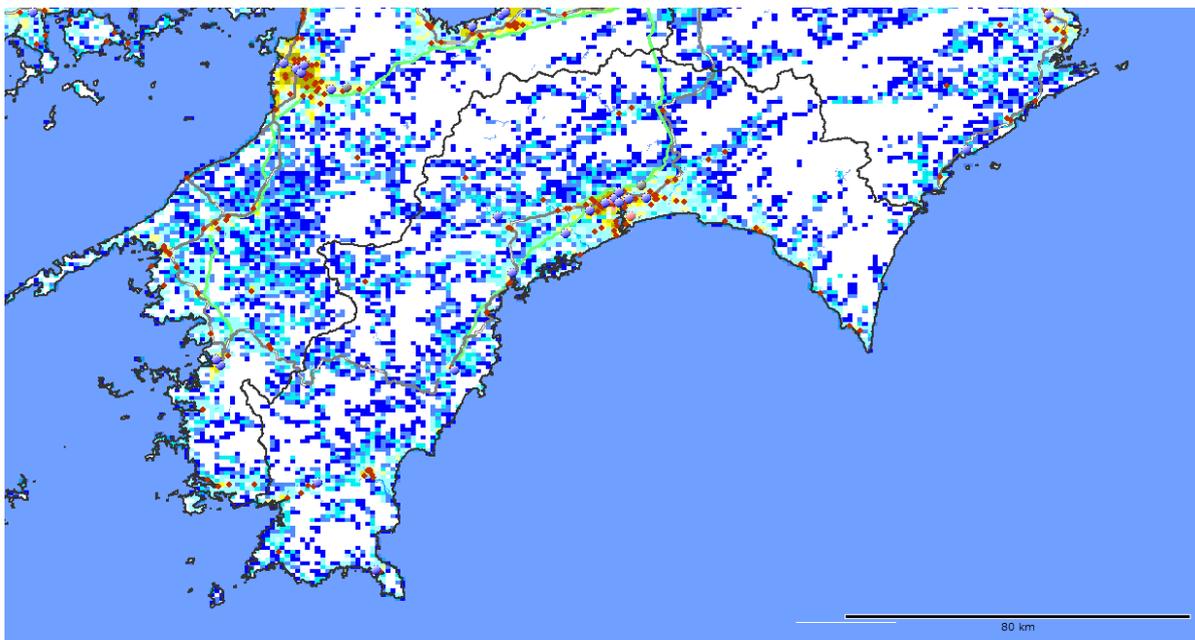


目次

高知県	39	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	39	-	8
1. 安芸医療圏	39	-	20
2. 中央医療圏	39	-	25
3. 高幡医療圏	39	-	30
4. 幡多医療圏	39	-	35

39. 高知県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(高知県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 高知県は、総人口約728千人(2015年)、面積7,104km²、人口密度は103人/km²である。

*人口の将来予測： 高知県の総人口は2025年に653千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に536千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の125千人が、2025年にかけて147千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には136千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 高知県の一人当たり医療費(国保)は406千円(偏差値64)、介護給付費は267千円(偏差値54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 高知県の一人当たり急性期医療密度指数は1.49、一人当たり慢性期医療密度指数は3.7で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が57(病院医師数60、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は67で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は82と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値84と非常に多く、回復期病床数は偏差値69と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 高知県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12,874人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が7,989床(偏差値52)、高齢者住宅等が4,885床(偏差値48)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10,225人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設81、有料老人ホーム42、軽費ホーム75、グループホーム61、サ高住41である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,297人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移

【人口と医療需要】

高知県の総人口は、2005年796,292人が、2015年に728,276人と9%減少し、2025年の人口が652,757人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

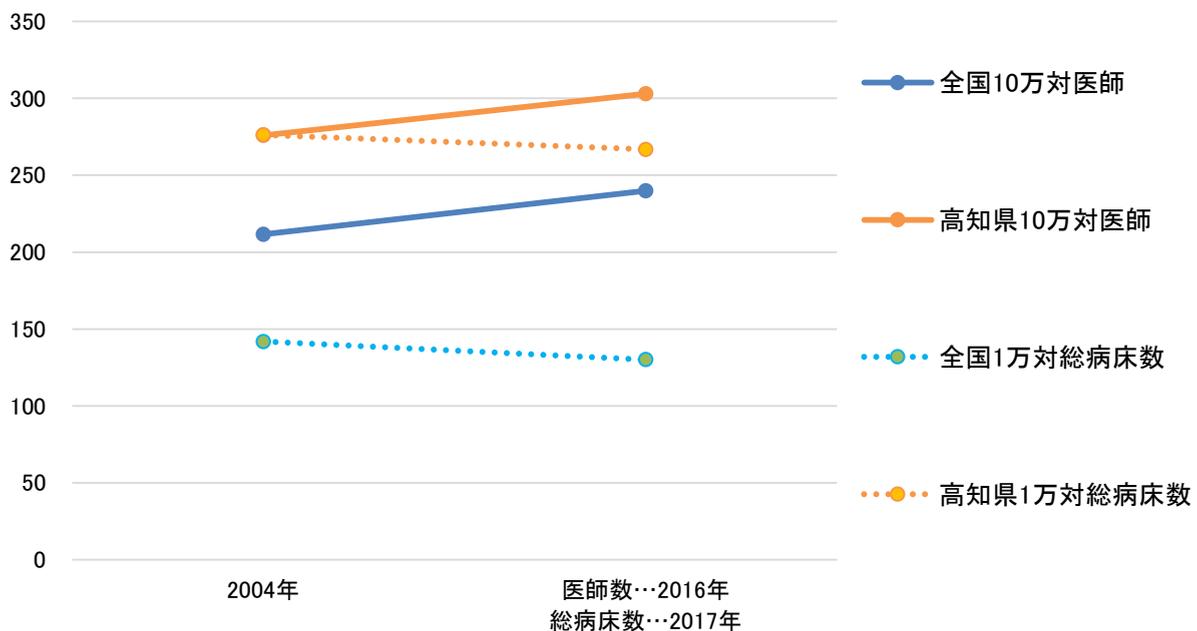
2004年の病院数が142(人口10万人当たり17.8病院(全国平均7.1)偏差値78)であったが、2017年に129(人口10万人当たり17.7病院(全国平均6.6)偏差値74)となり、13年間で13病院が減少した。

2004年の診療所数が602(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2017年に560(人口10万人当たり77診療所(全国平均80)偏差値48)と、42診療所が減少した。

2004年の総病床数が21,999床(人口1万人当たり276(全国平均142)偏差値74)であったが、2017年に19,430床(人口1万人当たり267(全国平均130)偏差値75)と、2,569床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

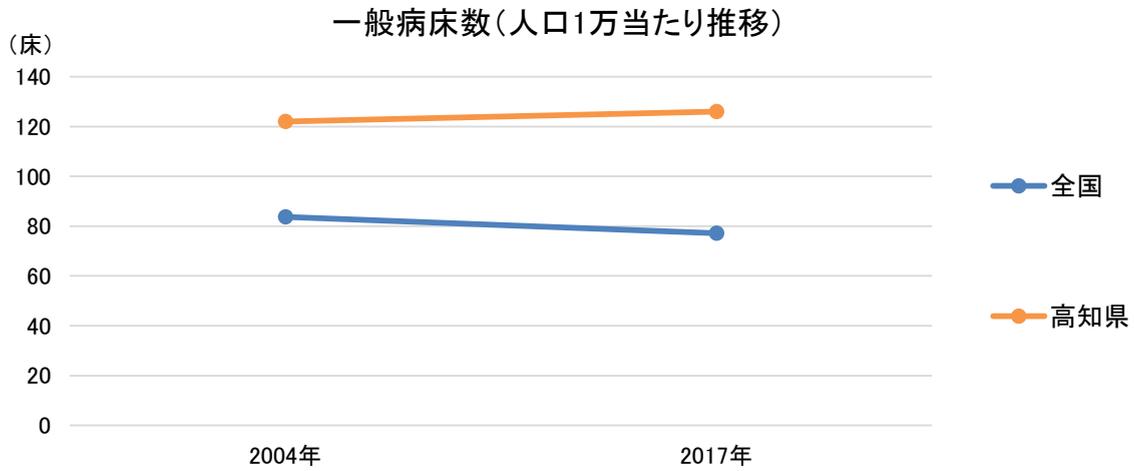
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,197人(人口10万人当たり276人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2016年に2,206人(人口10万人当たり303人(全国平均240人)偏差値57)と、9人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



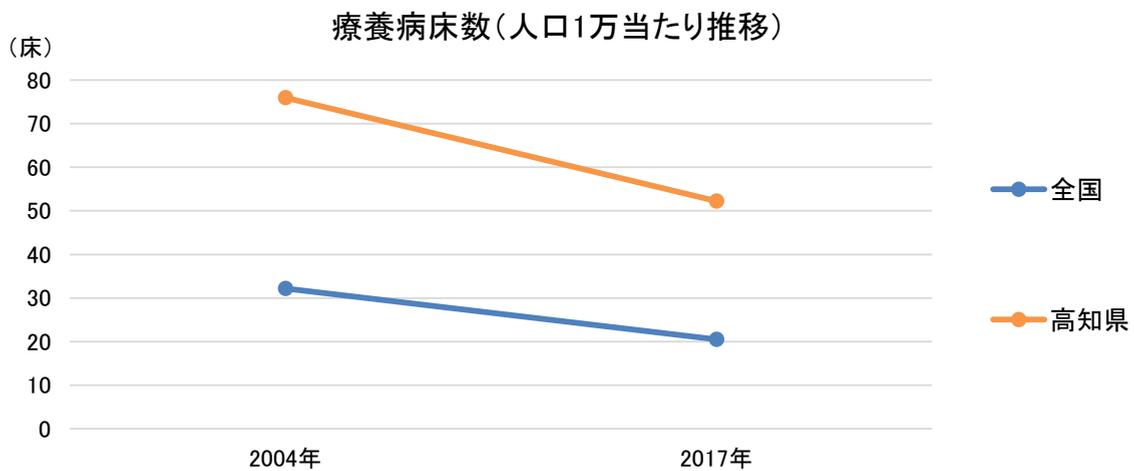
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9,715床(人口1万人当たり122(全国平均84)偏差値64)であったが、2017年に9,172床(人口1万人当たり126(全国平均77)偏差値69)と、543床の減少、率にして6%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



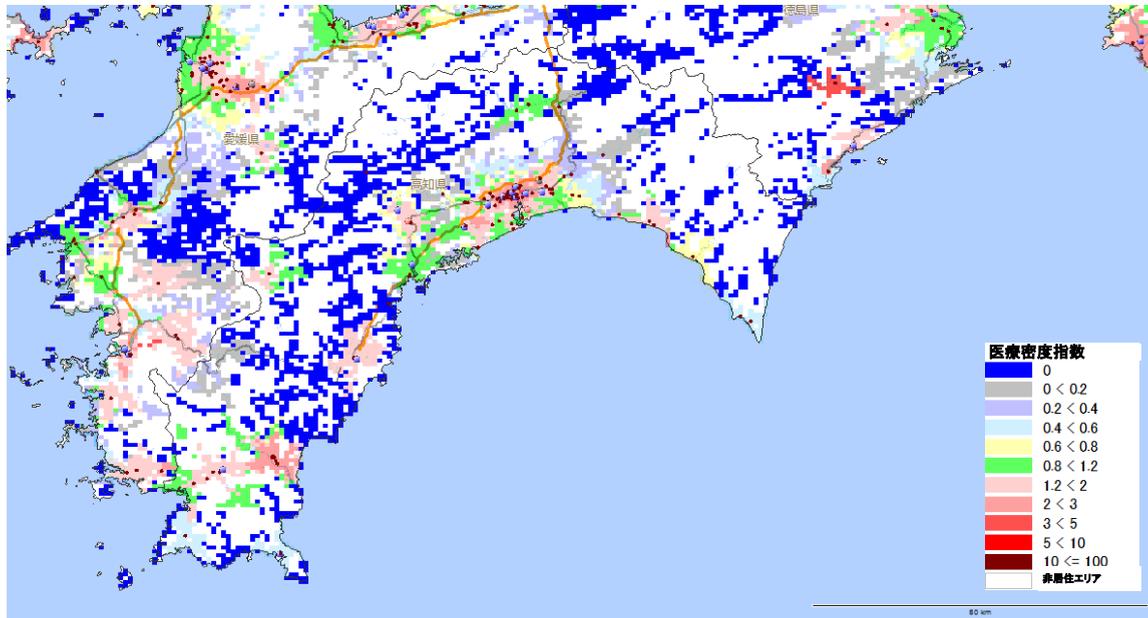
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が8,080床(75歳以上1,000人当たり76(全国平均32)偏差値75)であったが、2017年に6,538床(75歳以上1,000人当たり52(全国平均20)偏差値78)と、1542床の減少、率にして19%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



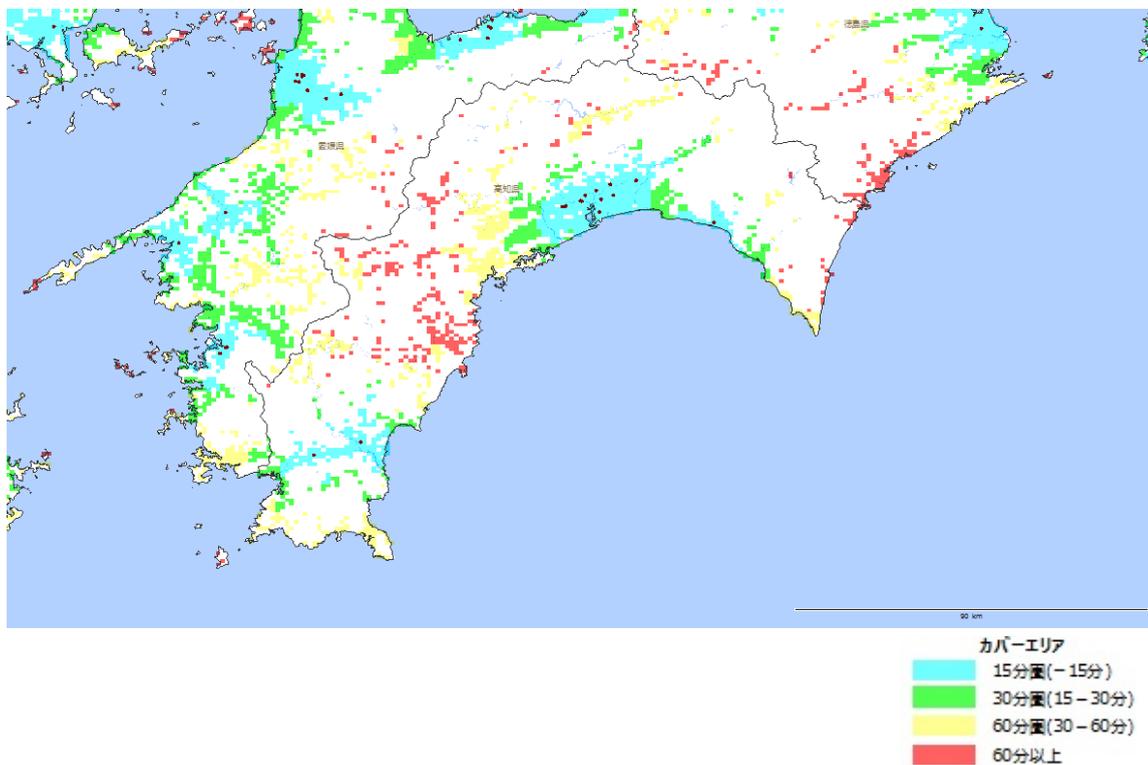
(高知県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表39-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 39-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
高知県	728	45位	7,104	18位	102.5		33%	653	536	125	147	136	-10%	-18%	18%	-7%
安芸	48	7%	1,129	16%	42.8	過疎地域型	41%	39	27	11	11	9	-19%	-31%	0%	-18%
中央	537	74%	3,008	42%	178.5	地方都市型	31%	494	422	84	103	99	-8%	-15%	23%	-4%
高幡	56	8%	1,405	20%	40.0	過疎地域型	40%	46	33	13	13	11	-18%	-28%	0%	-15%
幡多	87	12%	1,562	22%	55.6	過疎地域型	38%	73	54	18	20	17	-16%	-26%	11%	-15%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 39-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
高知県	1.49	3.70	12,020	12,114	-0.8%
安芸	0.82	4.00	950	914	3.8%
中央	1.72	3.24	7,959	8,425	-5.9%
高幡	0.53	3.44	1,174	1,118	4.8%
幡多	1.13	1.39	1,937	1,656	14.5%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 39-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			被保険者一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
高知県	406	64	1.127	185	67	1.331	198	55	1.009	267	54
安芸	451	74	1.244	200	72	1.425	228	73	1.158	286	60
中央	411	65	1.146	187	68	1.354	200	57	1.022	265	54
高幡	382	58	1.047	176	64	1.246	183	47	0.924	280	58
幡多	369	55	1.008	169	62	1.196	179	45	0.899	261	53
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 39-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
高知県	1,145	69	1.216	700	75	1.457	416	47	0.984
安芸	1,155	70	1.242	655	70	1.388	472	61	1.108
中央	1,216	75	1.305	758	81	1.598	428	50	1.008
高幡	1,032	59	1.098	633	68	1.310	375	37	0.883
幡多	894	48	0.959	510	55	1.072	362	33	0.852
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 39-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
高知県	129	1.5%	17.7	74	560	0.6%	77	48
安芸	7	5%	14.5	67	39	7%	81	50
中央	96	74%	17.9	75	417	74%	78	49
高幡	8	6%	14.2	67	42	8%	75	47
幡多	18	14%	20.7	81	62	11%	71	46
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 39-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
高知県	560	0.6%	77	48	482	0.5%	66	46	78	1.1%	10.7	58
安芸	39	7%	81	50	34	7%	70	48	5	6%	10.3	58
中央	417	74%	78	49	353	73%	66	46	64	82%	11.9	61
高幡	42	8%	75	47	40	8%	71	48	2	3%	3.6	46
幡多	62	11%	71	46	55	11%	63	44	7	9%	8.1	54
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 39-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(481)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(537)
高知県	18,170	1.2%	2,495	76	1,260	1.3%	173	60	19,430	1.2%	2,668	75
安芸	941	5%	1,946	65	51	4%	105	53	992	5%	2,052	64
中央	14,391	79%	2,681	80	1,066	85%	199	63	15,457	80%	2,879	79
高幡	986	5%	1,755	61	38	3%	68	49	1,024	5%	1,823	60
幡多	1,852	10%	2,132	69	105	8%	121	55	1,957	10%	2,252	68
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 39-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
高知県	7,924	0.9%	1,088	67	6,526	2.0%	896	82	3,622	1.1%	497	61
安芸	349	4%	722	51	176	3%	364	55	411	11%	850	78
中央	6,425	81%	1,197	72	5,260	81%	980	86	2,644	73%	492	61
高幡	326	4%	580	45	442	7%	787	76	218	6%	388	56
幡多	824	10%	948	61	648	10%	746	74	349	10%	402	57
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 39-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
高知県	1,092	1.4%	150	69	1,269	1.7%	174	69
安芸	42	4%	87	55	45	4%	93	56
中央	877	80%	163	71	948	75%	177	69
高幡	88	8%	157	70	87	7%	155	65
幡多	85	8%	98	57	189	15%	218	75
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資_図表 39-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
高知県	3,694	3,306	126	14,157	4,558	6,196	42.0%	49	2.0%	49
安芸	270	175	0	621	124	176	58.5%	55	0.0%	48
中央	2,915	2,653	126	11,220	3,762	4,943	41.4%	49	2.5%	49
高幡	30	30	0	956	296	442	9.2%	37	0.0%	48
幡多	479	448	0	1,360	376	635	54.4%	54	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 39-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
高知県	13,932	0.4%	1,913	45	5,052	0.5%	694	49
安芸	192	1%	397	39	96	2%	199	30
中央	12,936	93%	2,410	47	4,464	88%	831	54
高幡	168	1%	299	39	0	0%	0	22
幡多	636	5%	732	41	492	10%	566	44
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 39-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
高知県	2,206	0.7%	303	57	1,670	0.8%	229	60	536	0.5%	74	47
安芸	95	4%	196	45	59	4%	122	45	36	7%	74	47
中央	1,860	84%	346	62	1,428	86%	266	65	432	81%	80	50
高幡	81	4%	144	39	55	3%	98	41	26	5%	46	35
幡多	170	8%	196	45	128	8%	147	48	42	8%	48	36
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 39-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
高知県	168	0.7%	23.1	56	75	0.6%	10.3	49	61	0.5%	8.4	49
安芸	5	3%	10.3	42	4	5%	8.3	45	1	2%	2.1	33
中央	156	93%	29.1	62	62	83%	11.5	52	55	90%	10.2	53
高幡	1	1%	1.8	33	3	4%	5.3	39	0	0%	0	28
幡多	6	4%	6.9	38	6	8%	6.9	42	5	8%	5.8	42
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 39-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
高知県	43	0.8%	5.9	57	61	0.6%	8.4	52	52	0.7%	7.1	54
安芸	2	5%	4.1	49	2	3%	4.1	39	2	4%	4.1	43
中央	39	91%	7.3	63	54	89%	10.1	57	47	90%	8.8	60
高幡	0	0%	0	30	2	3%	3.6	37	0	0%	0	27
幡多	2	5%	2.3	40	3	5%	3.5	37	3	6%	3.5	40
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 39-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
高知県	84	0.9%	11.5	63	145	0.7%	19.9	55	137	0.8%	18.8	63
安芸	5	6%	10.3	59	7	5%	14.5	47	5	4%	10.3	44
中央	73	87%	13.6	69	125	86%	23.3	59	113	82%	21.0	67
高幡	3	4%	5.3	45	7	5%	12.5	44	8	6%	14.2	53
幡多	3	4%	3.5	39	6	4%	6.9	36	11	8%	12.7	49
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 39-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
高知県	55	0.9%	7.6	63	61	0.9%	8.4	63	37	0.7%	5.1	52
安芸	2	4%	4.1	47	4	7%	8.3	62	0	0%	0	35
中央	45	82%	8.4	67	48	79%	8.9	65	34	92%	6.3	56
高幡	4	7%	7.1	61	3	5%	5.3	50	1	3%	1.8	41
幡多	4	7%	4.6	49	6	10%	6.9	57	2	5%	2.3	43
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 39-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
高知県	49	0.7%	6.7	53	9	0.6%	1.2	50	34	0.9%	4.7	59
安芸	1	2%	2.1	39	0	0%	0	37	0	0%	0	34
中央	44	90%	8.2	58	8	89%	1.5	52	33	97%	6.1	66
高幡	2	4%	3.6	44	0	0%	0	37	0	0%	0	34
幡多	2	4%	2.3	40	1	11%	1.2	49	1	3%	1.2	40
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 39-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
高知県	17	0.8%	2.3	55	33	1.3%	4.5	68
安芸	0	0%	0	37	2	6%	4.1	65
中央	17	100%	3.2	62	30	91%	5.6	76
高幡	0	0%	0	37	1	3%	1.8	49
幡多	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 39-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
高知県	10,965	1.0%	1,506	71	9,567	1.0%	1,314	74	1,398	0.6%	192	52
安芸	551	5%	1,139	58	442	5%	915	58	109	8%	224	57
中央	8,770	80%	1,633	76	7,714	81%	1,437	79	1,055	75%	197	53
高幡	534	5%	951	52	446	5%	795	53	88	6%	157	47
幡多	1,110	10%	1,277	63	964	10%	1,109	66	146	10%	168	49
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 39-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
高知県	2,214	1.6%	304	84	1,706	0.6%	234	50
安芸	125	6%	259	76	84	5%	174	44
中央	1,770	80%	330	89	1,391	82%	259	52
高幡	126	6%	224	70	80	5%	142	40
幡多	193	9%	223	70	151	9%	174	44
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 39-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
高知県	39	0.3%	0.3	37	18	1.3%	0.1	58	52	0.5%	0.4	38
安芸	5	13%	0.5	41	1	6%	0.1	51	3	6%	0.3	32
中央	30	77%	0.4	38	13	72%	0.2	60	38	73%	0.5	40
高幡	1	3%	0.1	32	2	11%	0.2	60	3	6%	0.2	30
幡多	3	8%	0.2	34	2	11%	0.1	54	8	15%	0.4	40
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資_図表 39-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
高知県	12,874	0.8%	103	49	7,989	0.8%	64	52	4,885	0.7%	39	48
安芸	978	8%	92	43	666	8%	63	51	312	6%	29	42
中央	8,713	68%	104	50	5,155	65%	61	50	3,558	73%	42	50
高幡	1,212	9%	94	44	870	11%	68	55	342	7%	27	40
幡多	1,971	15%	111	54	1,298	16%	73	59	673	14%	38	47
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 39-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
高知県	2,248	0.6%	18	42	3,764	0.7%	30	45	1,977	3.3%	15.8	81
安芸	220	10%	21	47	410	11%	39	53	36	2%	3.4	49
中央	1,362	61%	16	39	2,187	58%	26	41	1,606	81%	19.2	89
高幡	192	9%	15	37	538	14%	42	57	140	7%	10.9	68
幡多	474	21%	27	57	629	17%	35	50	195	10%	10.9	68
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア			軽費ホーム	全国シェア			グループホーム	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
高知県	722	0.3%	5.8	42	837	3.6%	6.7	75	2,372	1.2%	19.0	61
安芸	34	5%	3.2	40	70	8%	6.6	74	180	8%	17.0	58
中央	578	80%	6.9	43	519	62%	6.2	72	1,607	68%	19.2	62
高幡	0	0%	0	37	70	8%	5.5	69	234	10%	18.2	60
幡多	110	15%	6.2	42	178	21%	10.0	90	351	15%	19.7	63
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)	全国シェア			サ高住(特定施設)	全国シェア			サ高住(非特定施設)	全国シェア			
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)	
高知県	954	0.4%	7.6	41	100	0.5%	0.8	47	854	0.4%	6.8	41	
安芸	28	3%	2.6	33	0	0%	0	43	28	3%	2.6	35	
中央	854	90%	10.2	44	100	100%	1.2	49	754	88%	9.0	44	
高幡	38	4%	3.0	34	0	0%	0	43	38	4%	3.0	35	
幡多	34	4%	1.9	32	0	0%	0	43	34	4%	1.9	34	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資_図表 39-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア			看護師数(施設)	全国シェア			看護師数(訪問)	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
高知県	1,439	0.8%	11.5	54	1,212	1.0%	9.7	62	227	0.4%	1.8	37
安芸	76	5%	7.2	35	64	5%	6.0	43	13	6%	1.2	32
中央	999	69%	11.9	56	832	69%	9.9	63	167	73%	2.0	39
高幡	118	8%	9.2	44	99	8%	7.7	52	19	8%	1.4	34
幡多	246	17%	13.8	64	217	18%	12.2	74	29	13%	1.6	36
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
高知県	11,522	0.8%	92	50	10,225	0.8%	82	53	1,297	0.6%	10.4	44
安芸	1,015	9%	96	53	895	9%	84	55	120	9%	11.3	46
中央	7,667	67%	91	49	6,764	66%	81	52	903	70%	10.8	45
高幡	1,076	9%	84	43	1,003	10%	78	49	73	6%	5.7	36
幡多	1,764	15%	99	55	1,564	15%	88	58	200	15%	11.3	46
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
高知県	6,153	0.5%	49	43	1,596	0.3%	13	36	8,162	0.7%	65	46
安芸	335	5%	32	38	74	5%	7	31	667	8%	63	46
中央	4,766	77%	57	45	1,291	81%	15	38	6,083	75%	73	49
高幡	483	8%	38	39	74	5%	6	31	451	6%	35	35
幡多	569	9%	32	38	157	10%	9	33	961	12%	54	42
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
高知県		796,292	728,276	-9%	652,757	-18%	2%	-2%	0%
安芸	過疎地域型	58,340	48,350	-17%	39,238	-33%	-5%	-11%	-15%
中央	地方都市型	570,302	536,869	-6%	494,297	-13%	5%	0%	5%
高幡	過疎地域型	66,373	56,173	-15%	46,377	-30%	-4%	-9%	-13%
幡多	過疎地域型	101,277	86,884	-14%	72,845	-28%	-2%	-6%	-9%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 39-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
高知県	142	17.8	78	129	17.7	74	-13	-9%
安芸	8	13.7	67	7	14.5	67	-1	-13%
中央	106	18.6	80	96	17.9	75	-10	-9%
高幡	8	12.1	63	8	14.2	67	0	0%
幡多	20	19.7	83	18	20.7	81	-2	-10%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 39-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
高知県	602	76	50	560	77	48	-42	-7%
安芸	41	70	47	39	81	50	-2	-5%
中央	437	77	50	417	78	49	-20	-5%
高幡	51	77	50	42	75	47	-9	-18%
幡多	73	72	48	62	71	46	-11	-15%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 39-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
高知県	2,197	276	58	2,206	303	57	9	0%
安芸	109	187	47	95	196	45	-14	-13%
中央	1,771	311	62	1,860	346	62	89	5%
高幡	107	161	44	81	144	39	-26	-24%
幡多	210	207	49	170	196	45	-40	-19%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 39-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
高知県	21,999	276	74	19,430	267	75	-2,569	-12%
安芸	1,255	215	63	992	205	64	-263	-21%
中央	17,195	302	79	15,457	288	79	-1,738	-10%
高幡	1,164	175	56	1,024	182	60	-140	-12%
幡多	2,385	235	67	1,957	225	68	-428	-18%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 39-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
高知県	9,715	122	64	9,172	126	69	-543	-6%
安芸	533	91	53	400	83	52	-133	-25%
中央	7,675	135	68	7,491	140	74	-184	-2%
高幡	461	69	45	358	64	45	-103	-22%
幡多	1,046	103	57	923	106	61	-123	-12%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 39-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

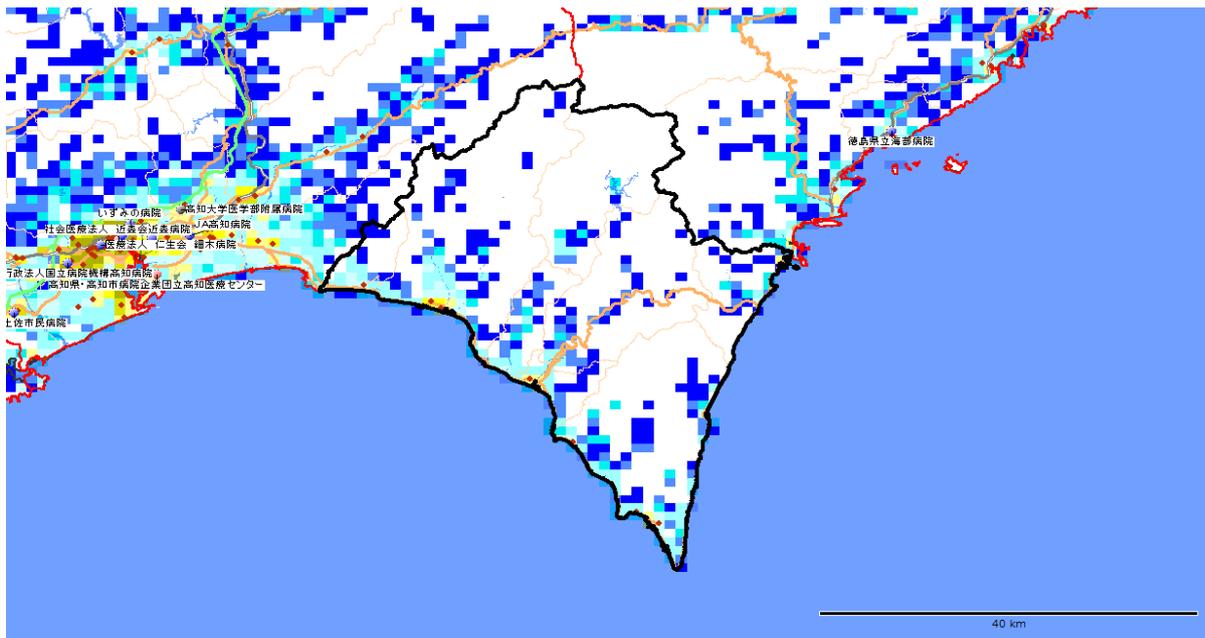
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
高知県	8,080	76	75	6,538	52	78	-1,542	-19%
安芸	220	23	45	176	17	47	-44	-20%
中央	6,416	92	84	5,260	63	87	-1,156	-18%
高幡	485	42	56	448	35	63	-37	-8%
幡多	959	61	66	654	37	64	-305	-32%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

39-1. ^あ_げ 安芸医療圏

構成市区町村 [室戸市](#) [安芸市](#) [東洋町](#) [奈半利町](#)
[田野町](#) [安田町](#) [北川村](#) [馬路村](#)
[芸西村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(安芸医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 安芸(室戸市)は、総人口約48千人(2015年)、面積1,129km²、人口密度は43人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 安芸の総人口は2025年に39千人へと減少し(2015年比-19%)、2040年に27千人へと減少する(2025年比-31%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて11千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には9千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 安芸の一人当たり医療費(国保)は451千円(偏差値74)、介護給付費は286千円(偏差値60)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 安芸の一人当たり急性期医療密度指数は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数は4で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数45、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。安芸には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値76と非常に多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は78で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 安芸の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、978人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が666床(偏差値51)、高齢者住宅等が312床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、895人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム40、軽費ホーム74、グループホーム58、サ高住33である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値32と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、120人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(安芸医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

安芸医療圏の総人口は、2005年58,340人が、2015年に48,350人と17%減少し、2025年の人口が39,238人と予測され、2005年→2025年の間に33%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて11%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

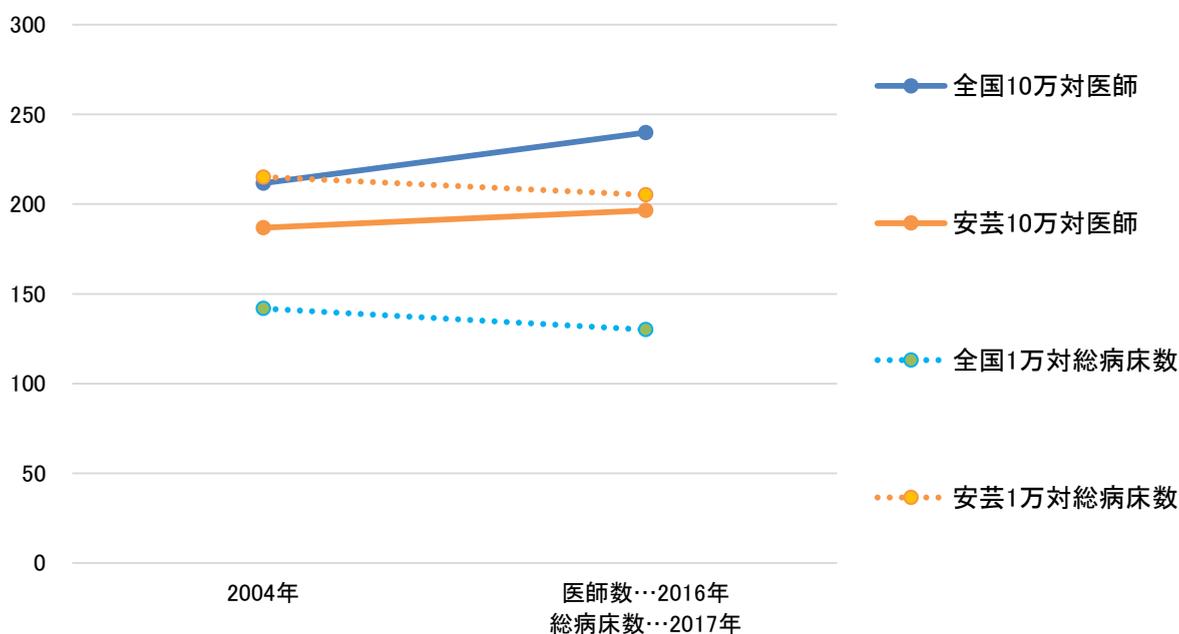
2004年の病院数が8(人口10万人当たり13.7病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2017年に7(人口10万人当たり14.5病院(全国平均6.6)偏差値67)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が41(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2017年に39(人口10万人当たり81診療所(全国平均80)偏差値50)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,255床(人口1万人当たり215(全国平均142)偏差値63)であったが、2017年に992床(人口1万人当たり205(全国平均130)偏差値64)と、263床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

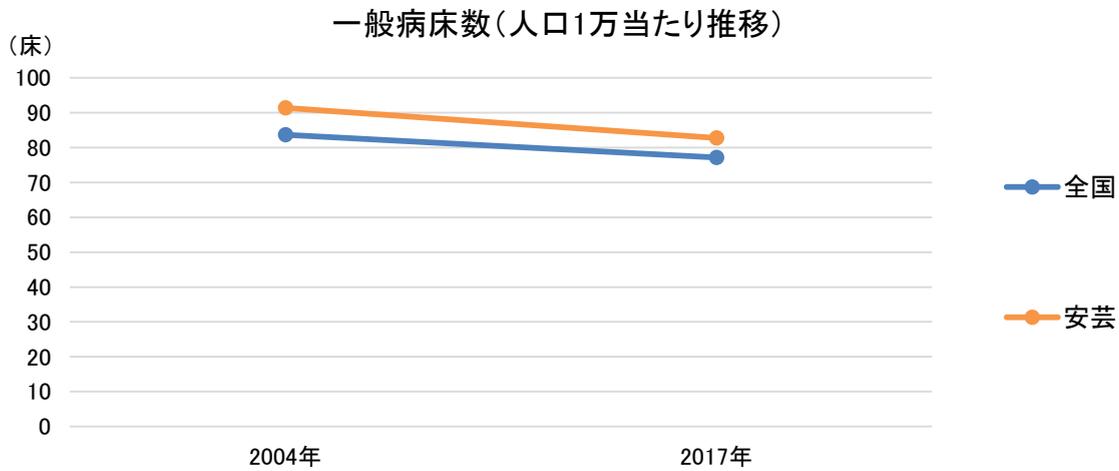
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が109人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2016年に95人(人口10万人当たり196人(全国平均240人)偏差値45)と、14人の減少、率にして13%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



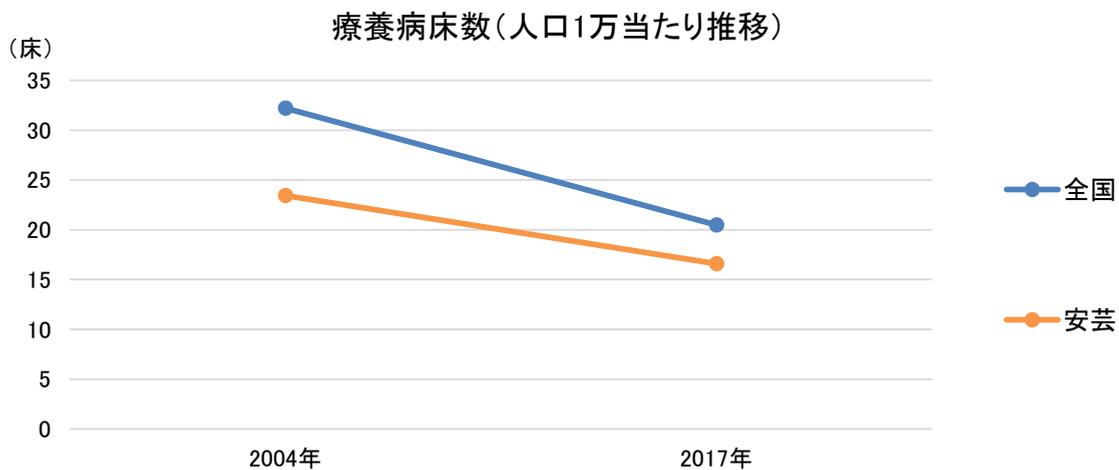
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が533床(人口1万人当たり91(全国平均84)偏差値53)であったが、2017年に400床(人口1万人当たり83(全国平均77)偏差値52)と、133床の減少、率にして25%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



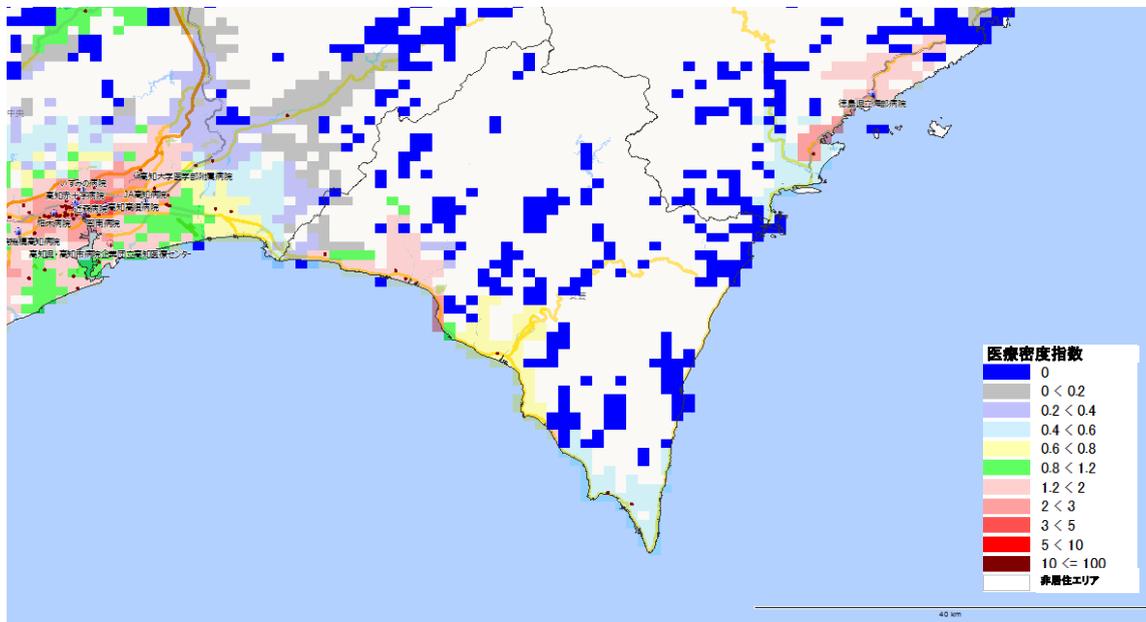
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が220床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2017年に176床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均20)偏差値47)と、44床の減少、率にして20%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



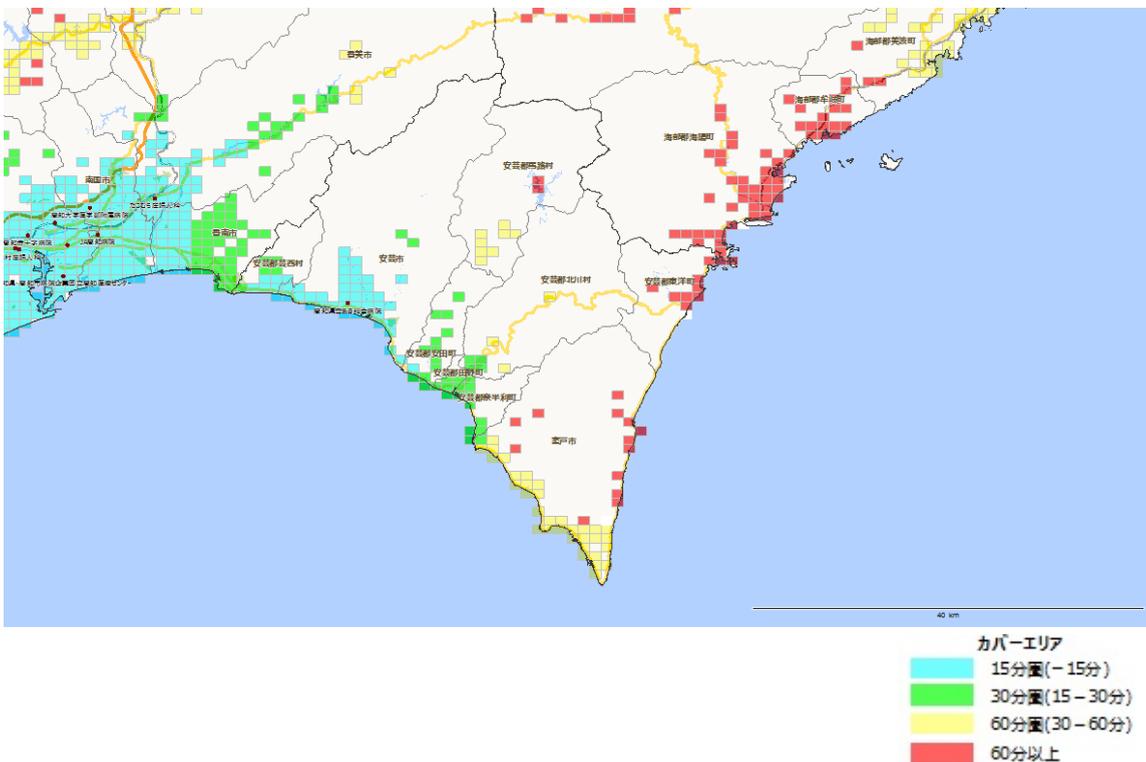
(安芸医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表39-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

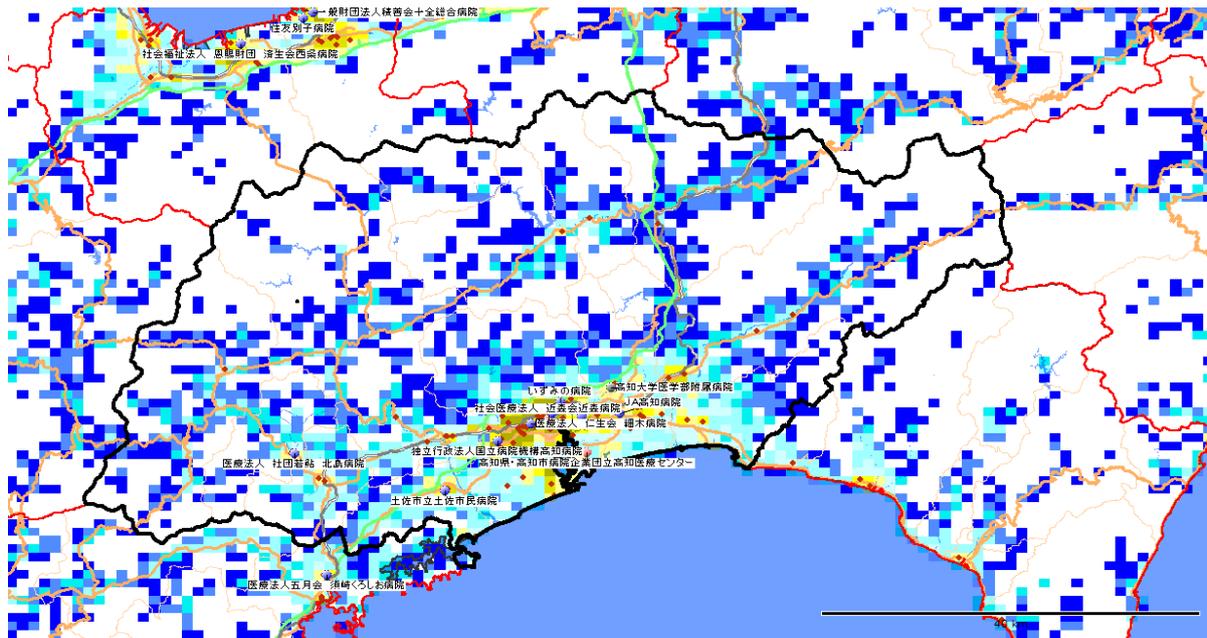


39-2. ちゅうおう 中央医療圏

構成市区町村	高知市	南国市	土佐市	香南市
	香美市	本山町	大豊町	土佐町
	大川村	いの町	仁淀川町	佐川町
	越知町	且高村		

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(中央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中央(高知市)は、総人口約537千人(2015年)、面積3,008km²、人口密度は178人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中央の総人口は2025年に494千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に422千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の84千人が、2025年にかけて103千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には99千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中央の一人当たり医療費(国保)は411千円(偏差値65)、介護給付費は265千円(偏差値54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中央の一人当たり急性期医療密度指数は1.72、一人当たり慢性期医療密度指数は3.24で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が62(病院医師数65、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は76と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は72で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。中央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の高知医療センター(Ⅱ群・救命)、高知赤十字病院(Ⅱ群・救命)、高知大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上のNHQ高知病院(Ⅲ群)、近森病院(Ⅱ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は86と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値89と非常に多く、回復期病床数は偏差値71と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8,713人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5,155床(偏差値50)、高齢者住宅等が3,558床(偏差値50)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,764人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム41、介護療養型医療施設89、有料老人ホーム43、軽費ホーム72、グループホーム62、サ高住44である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、903人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(中央医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

中央医療圏の総人口は、2005年570,302人が、2015年に536,869人と6%減少し、2025年の人口が494,297人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

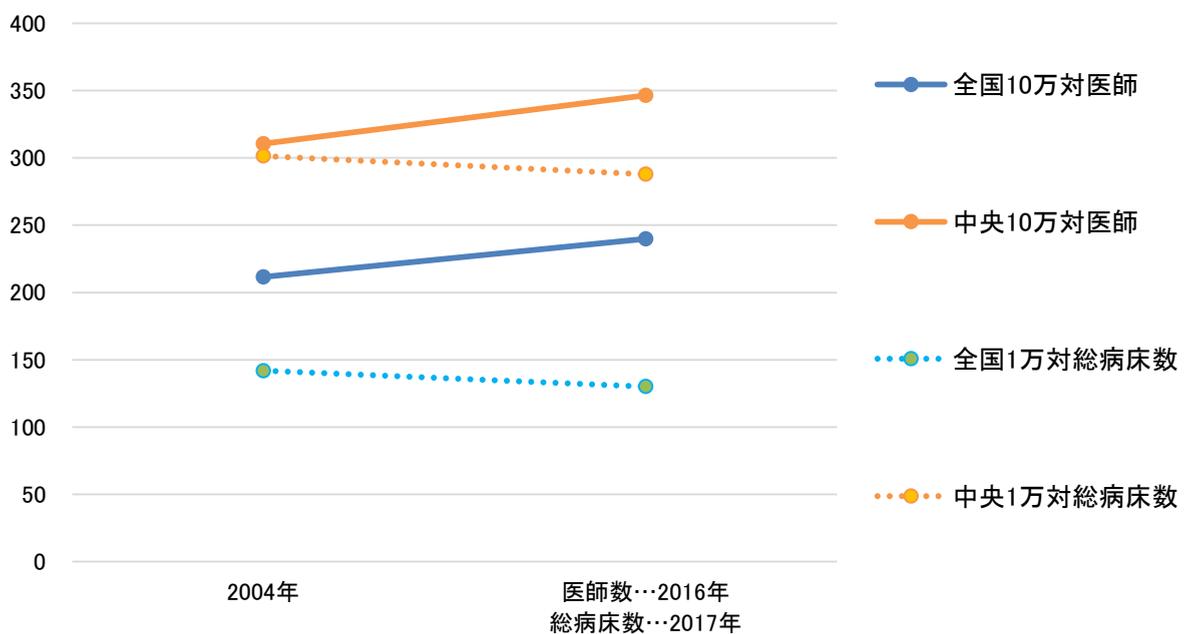
2004年の病院数が106(人口10万人当たり18.6病院(全国平均7.1)偏差値80)であったが、2017年に96(人口10万人当たり17.9病院(全国平均6.6)偏差値75)となり、13年間で10病院が減少した。

2004年の診療所数が437(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2017年に417(人口10万人当たり78診療所(全国平均80)偏差値49)と、20診療所が減少した。

2004年の総病床数が17,195床(人口1万人当たり302(全国平均142)偏差値79)であったが、2017年に15,457床(人口1万人当たり288(全国平均130)偏差値79)と、1,738床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

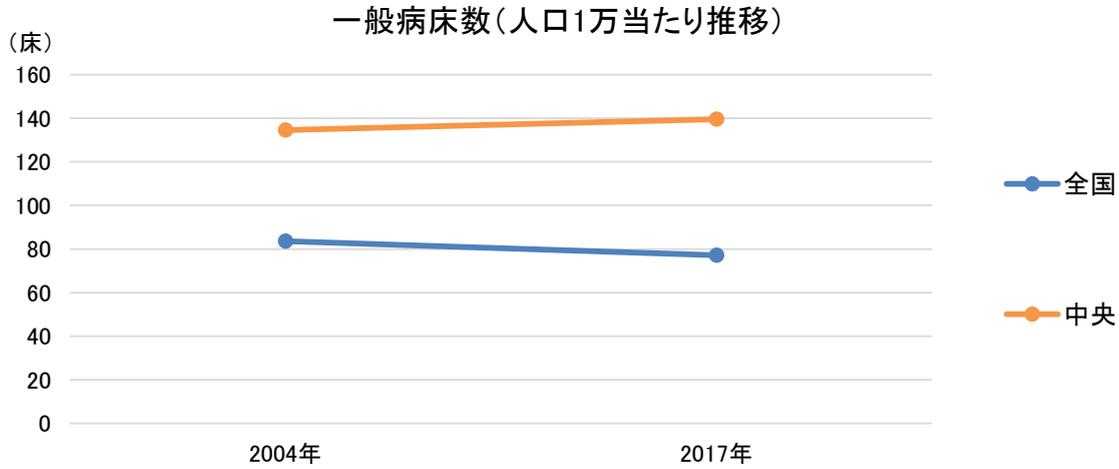
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,771人(人口10万人当たり311人(全国平均212人)偏差値62)であったが、2016年に1,860人(人口10万人当たり346人(全国平均240人)偏差値62)と、89人の増加、率にして5%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



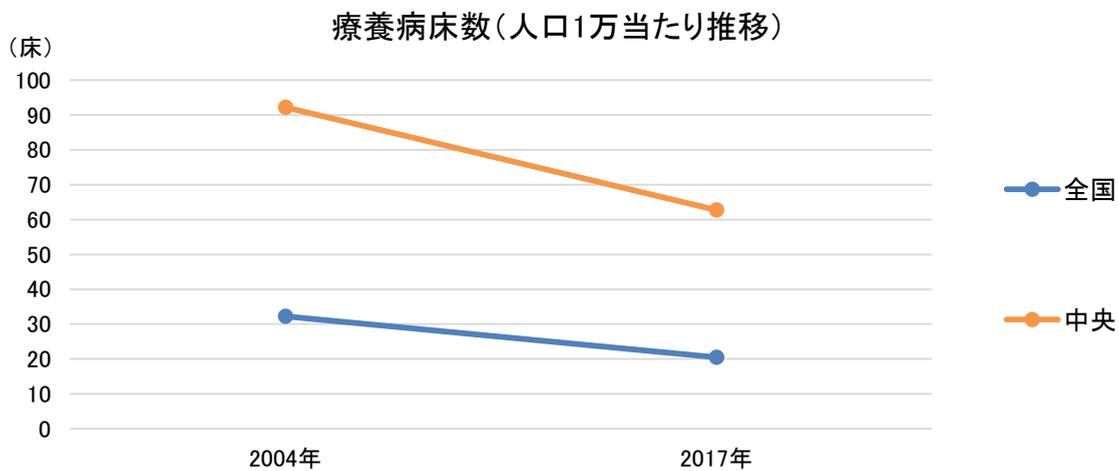
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,675床(人口1万人当たり135(全国平均84)偏差値68)であったが、2017年に7,491床(人口1万人当たり140(全国平均77)偏差値74)と、184床の減少、率にして2%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



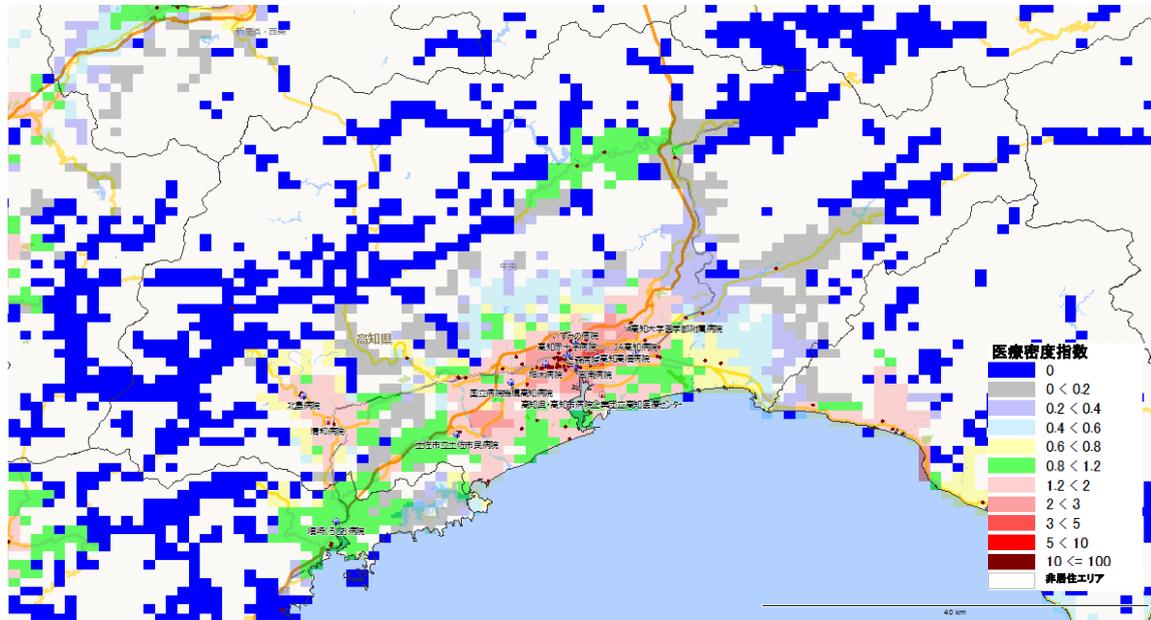
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が6,416床(75歳以上1,000人当たり92(全国平均32)偏差値84)であったが、2017年に5,260床(75歳以上1,000人当たり63(全国平均20)偏差値87)と、1156床の減少、率にして18%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



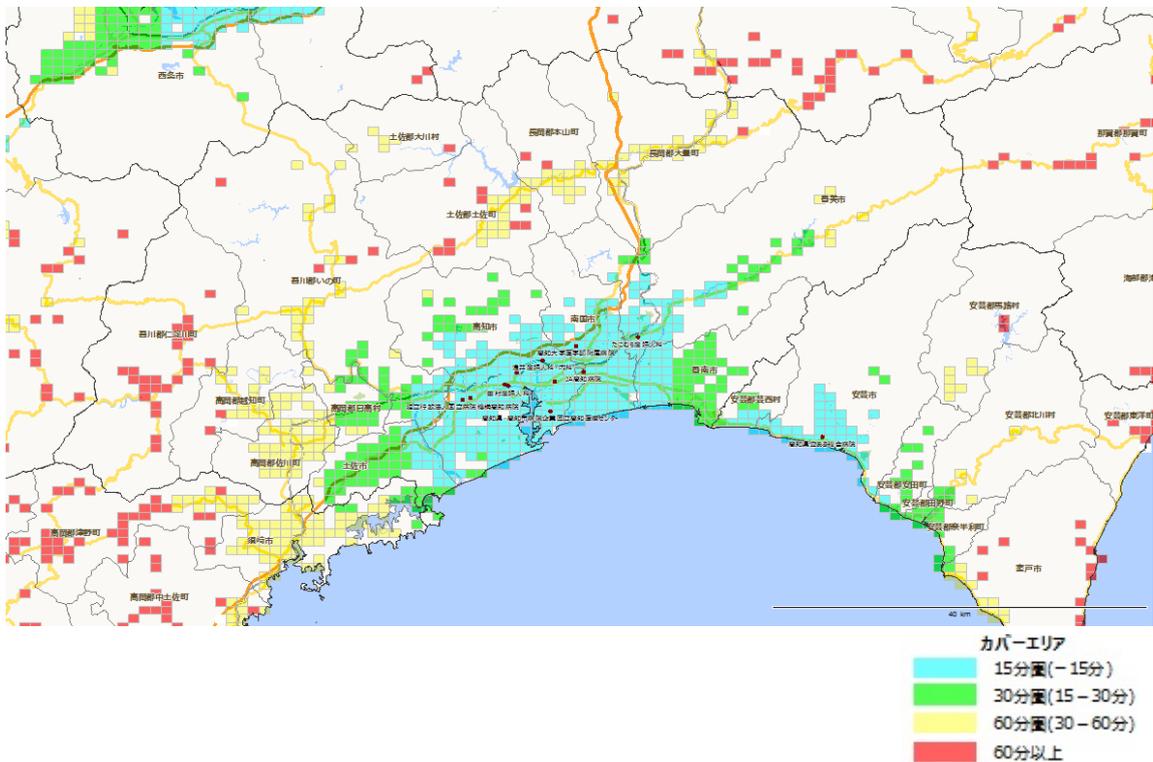
(中央医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表39-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照 (日医総研WP no. 400) 」)

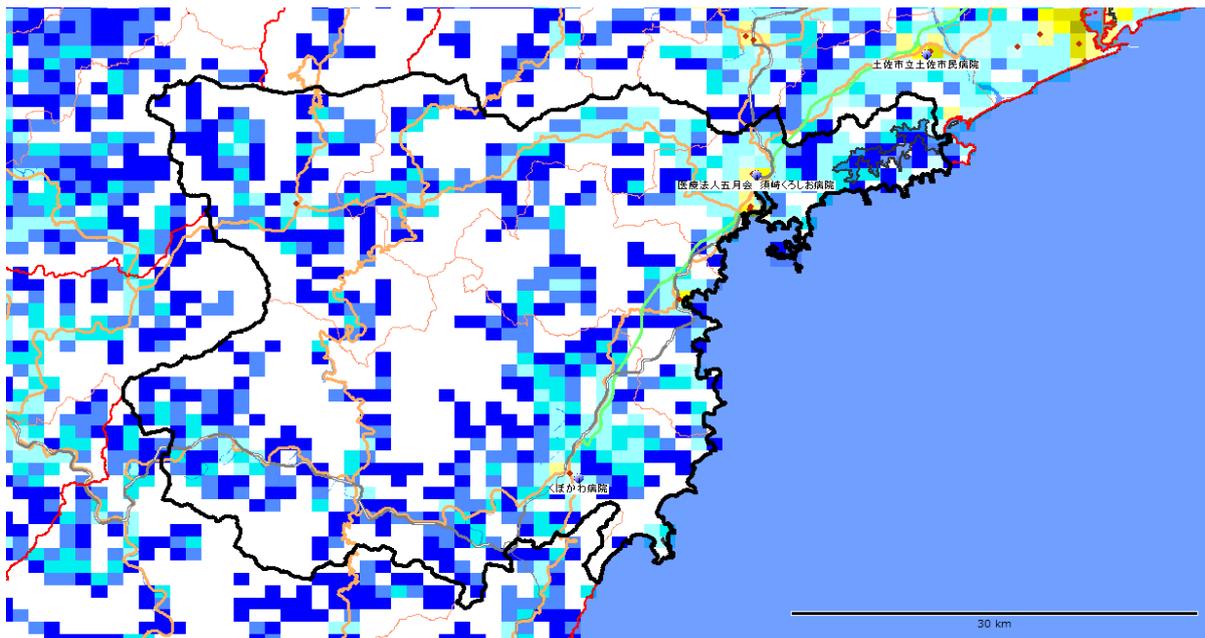


39-3. こうばん 高幡医療圏

構成市区町村 [須崎市](#) [中土佐町](#) [梶原町](#) [津野町](#)
[四万十町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



(高幡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 高幡(須崎市)は、総人口約56千人(2015年)、面積1,405km²、人口密度は40人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 高幡の総人口は2025年に46千人へと減少し(2015年比-18%)、2040年に33千人へと減少する(2025年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて13千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 高幡の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値58)、介護給付費は280千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 高幡の一人当たり急性期医療密度指数は0.53、一人当たり慢性期医療密度指数は3.44で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数41、診療所医師数35)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。高幡には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は76と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値70と非常に多く、回復期病床数は偏差値70と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 高幡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,212人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が870床(偏差値55)、高齢者住宅等が342床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,003人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設68、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム69、グループホーム60、サ高住34である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値30と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、73人(75歳以上1,000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(高幡医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

高幡医療圏の総人口は、2005年66,373人が、2015年に56,173人と15%減少し、2025年の人口が46,377人と予測され、2005年→2025年の間に30%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて9%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

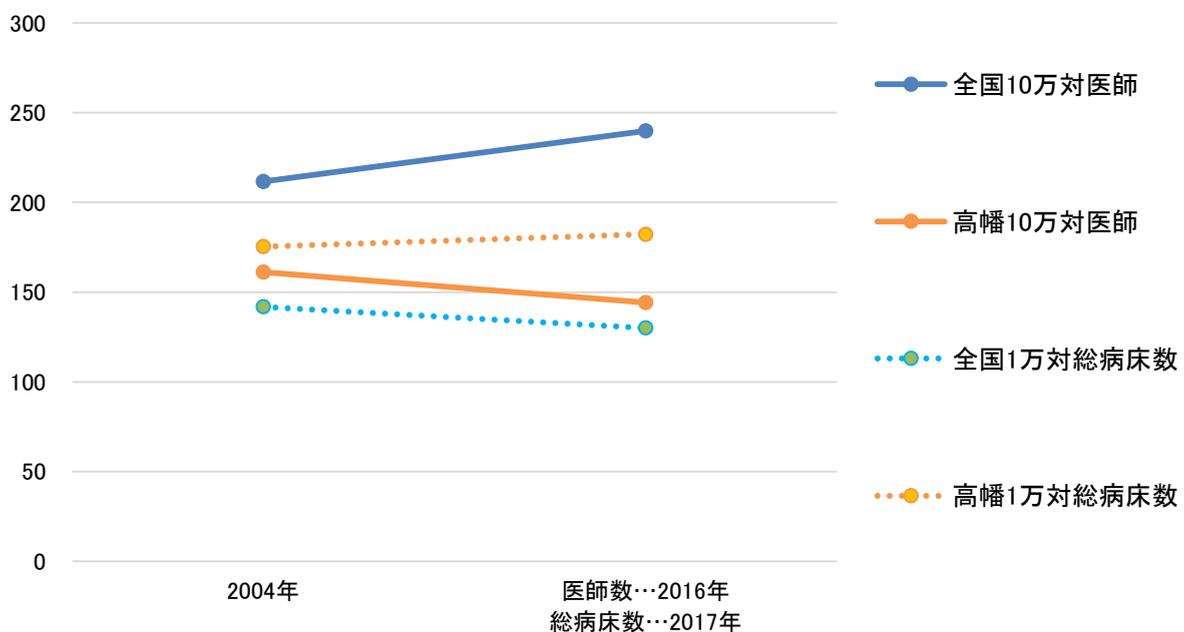
2004年の病院数が8(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2017年に8(人口10万人当たり14.2病院(全国平均6.6)偏差値67)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が51(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2017年に42(人口10万人当たり75診療所(全国平均80)偏差値47)と、9診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,164床(人口1万人当たり175(全国平均142)偏差値56)であったが、2017年に1,024床(人口1万人当たり182(全国平均130)偏差値60)と、140床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

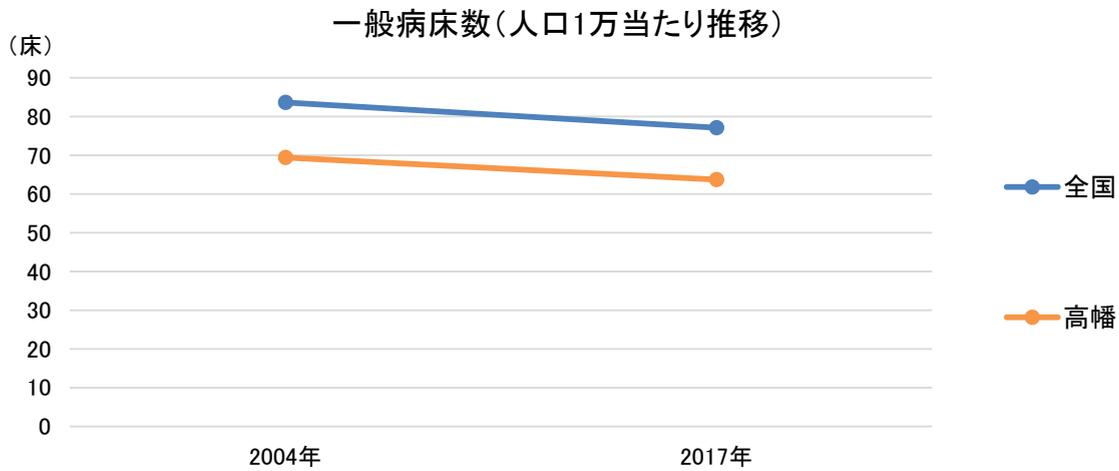
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が107人(人口10万人当たり161人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2016年に81人(人口10万人当たり144人(全国平均240人)偏差値39)と、26人の減少、率にして24%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



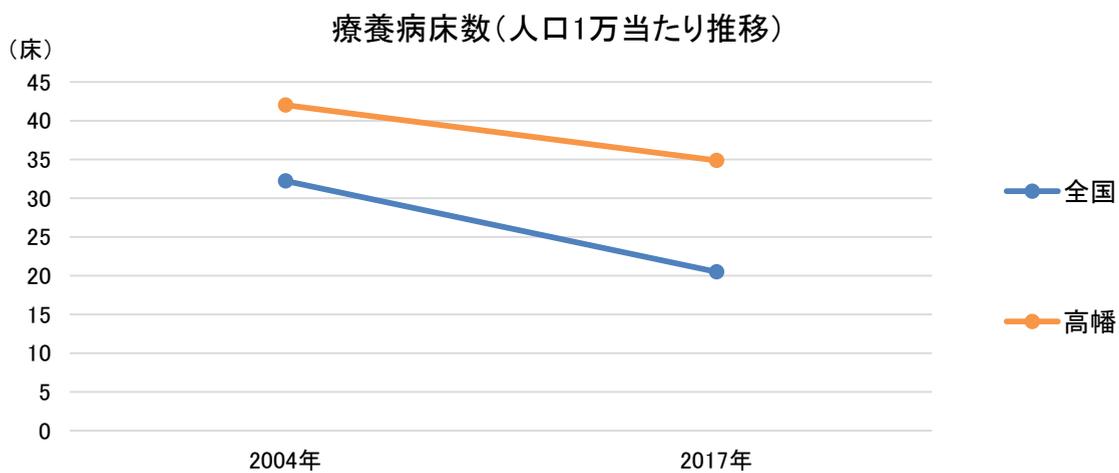
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が461床(人口1万人当たり69(全国平均84)偏差値45)であったが、2017年に358床(人口1万人当たり64(全国平均77)偏差値45)と、103床の減少、率にして22%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



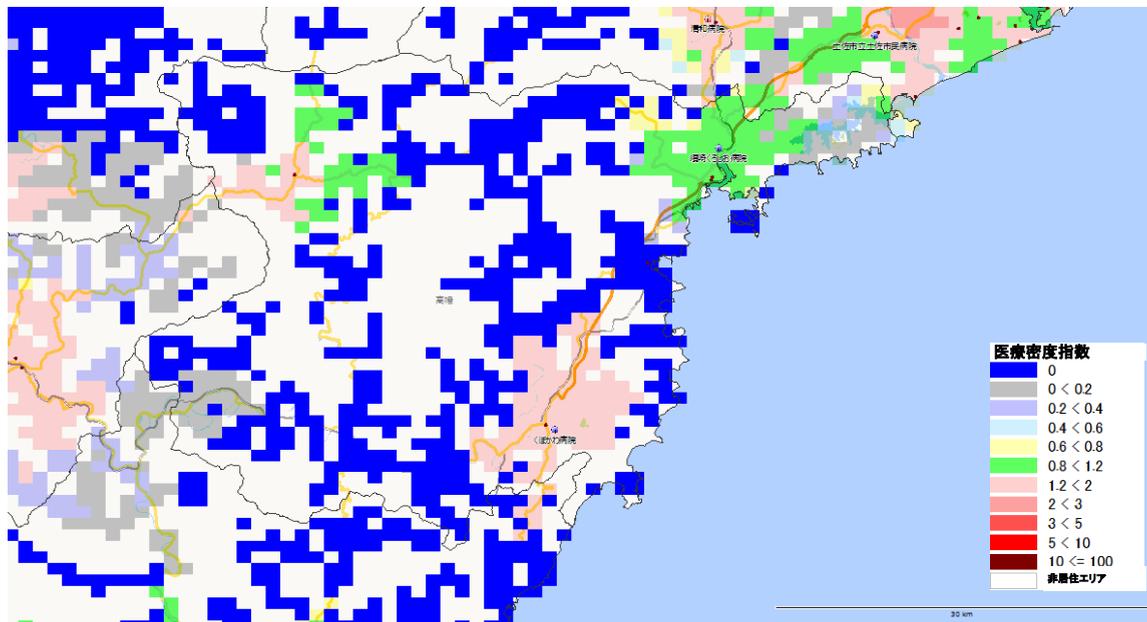
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が485床(75歳以上1,000人当たり42(全国平均32)偏差値56)であったが、2017年に448床(75歳以上1,000人当たり35(全国平均20)偏差値63)と、37床の減少、率にして8%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



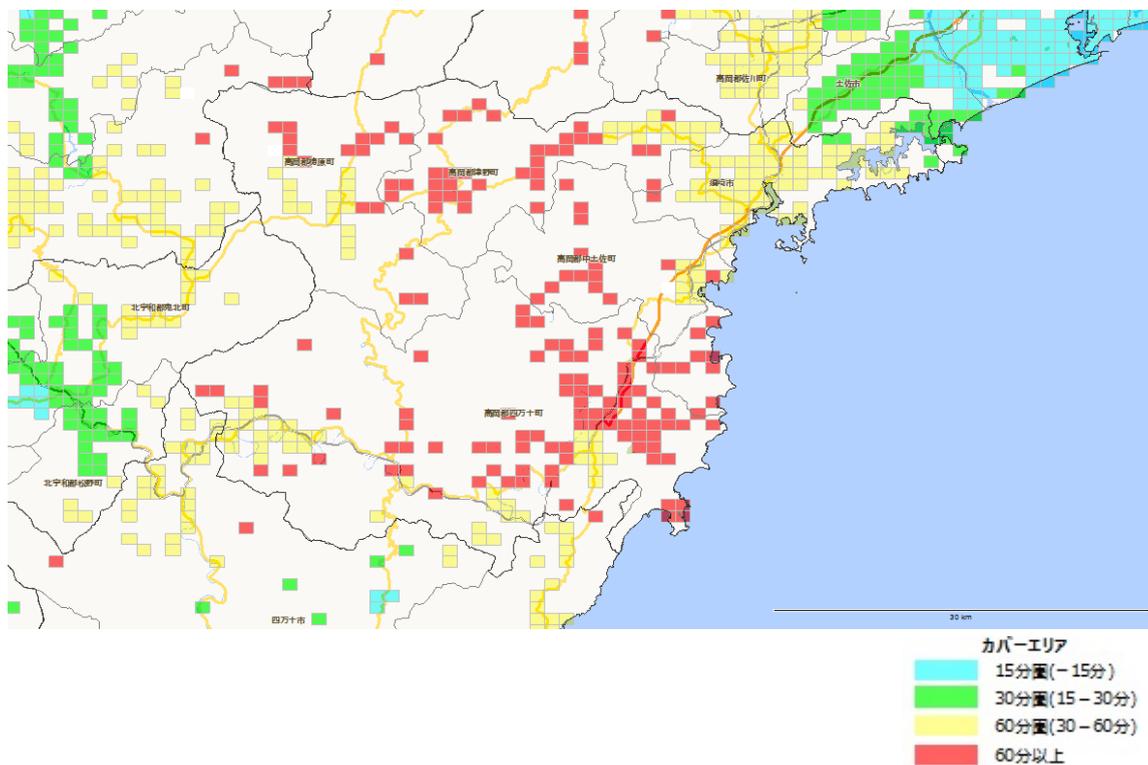
(高幡医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表39-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



(幡多医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 幡多(宿毛市)は、総人口約87千人(2015年)、面積1,562km²、人口密度は56人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 幡多の総人口は2025年に73千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に54千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて20千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には17千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 幡多の一人当たり医療費(国保)は369千円(偏差値55)、介護給付費は261千円(偏差値53)であり、医療費、介護給付費ともにやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 幡多の一人当たり急性期医療密度指数は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数は1.39で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数48、診療所医師数36)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は63と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。幡多には、年間全身麻酔件数が1000例以上の高知県立幡多けんみん病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は74と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値70と非常に多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 幡多の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,971人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,298床(偏差値59)、高齢者住宅等が673床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,564人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設68、有料老人ホーム42、軽費ホーム90、グループホーム63、サ高住32である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、200人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(幡多医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

幡多医療圏の総人口は、2005年101,277人が、2015年に86,884人と14%減少し、2025年の人口が72,845人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

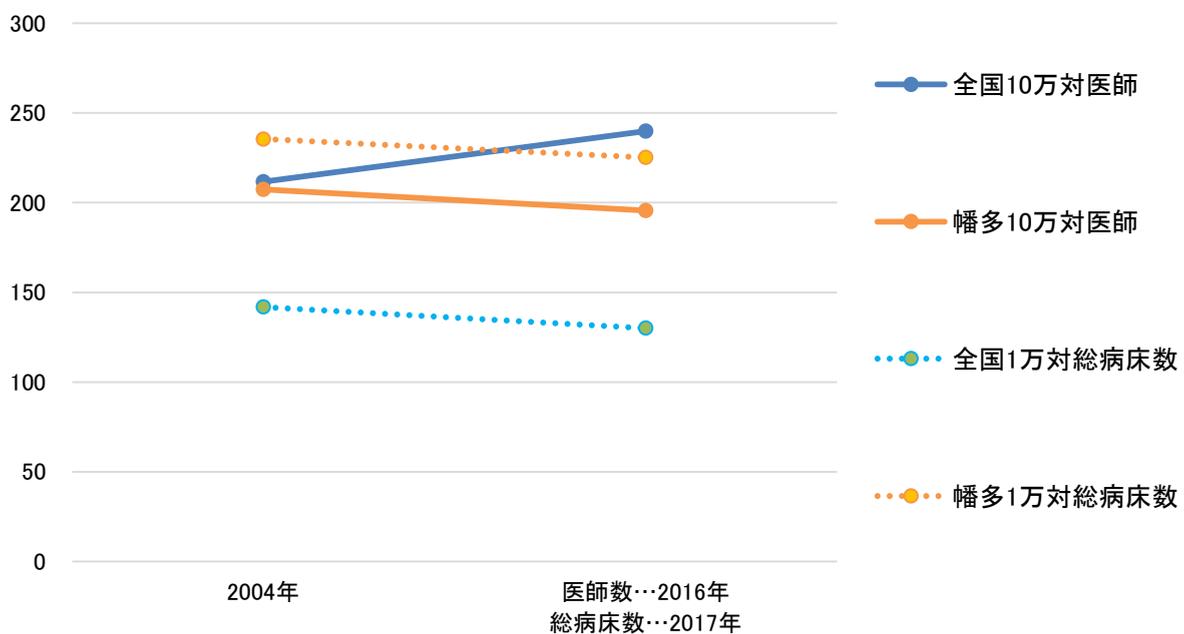
2004年の病院数が20(人口10万人当たり19.7病院(全国平均7.1)偏差値83)であったが、2017年に18(人口10万人当たり20.7病院(全国平均6.6)偏差値81)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が73(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2017年に62(人口10万人当たり71診療所(全国平均80)偏差値46)と、11診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,385床(人口1万人当たり235(全国平均142)偏差値67)であったが、2017年に1,957床(人口1万人当たり225(全国平均130)偏差値68)と、428床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

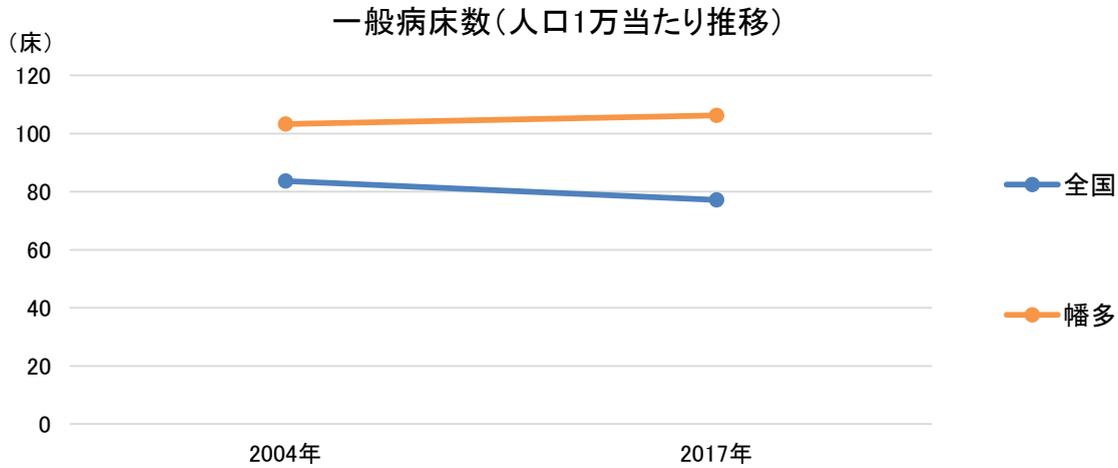
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が210人(人口10万人当たり207人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2016年に170人(人口10万人当たり196人(全国平均240人)偏差値45)と、40人の減少、率にして19%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



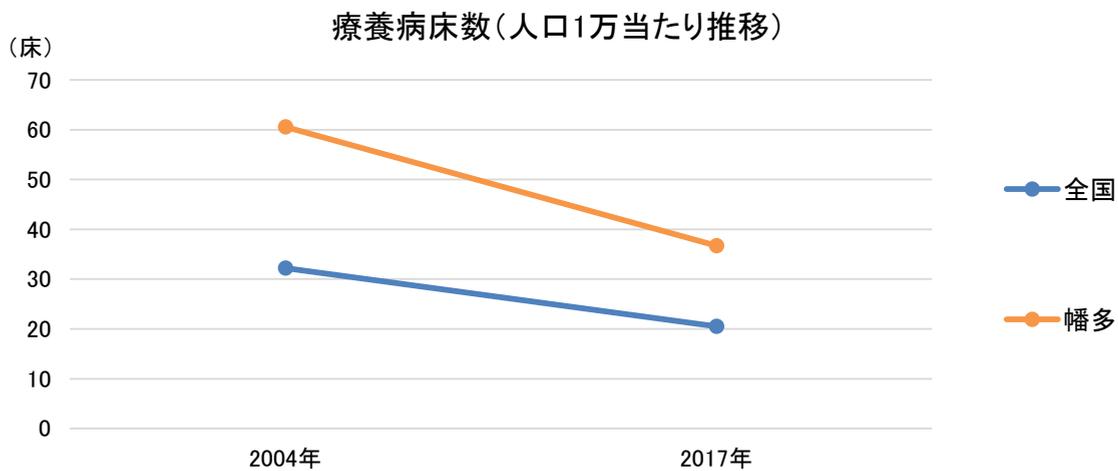
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,046床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2017年に923床(人口1万人当たり106(全国平均77)偏差値61)と、123床の減少、率にして12%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



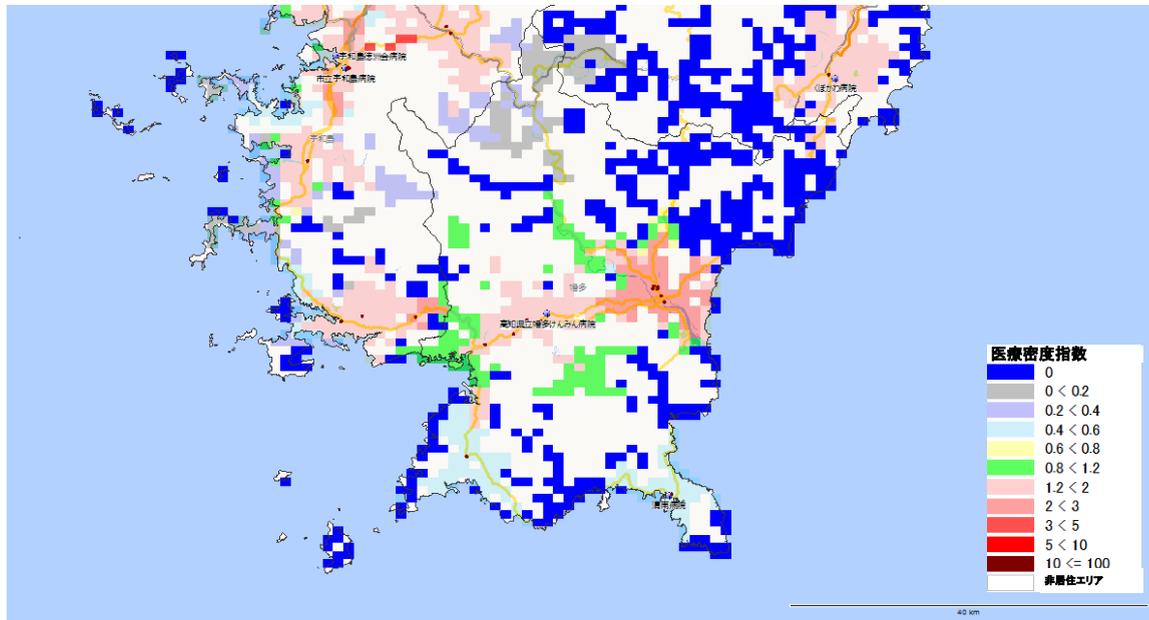
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が959床(75歳以上1,000人当たり61(全国平均32)偏差値66)であったが、2017年に654床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均20)偏差値64)と、305床の減少、率にして32%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



(幡多医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表39-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

